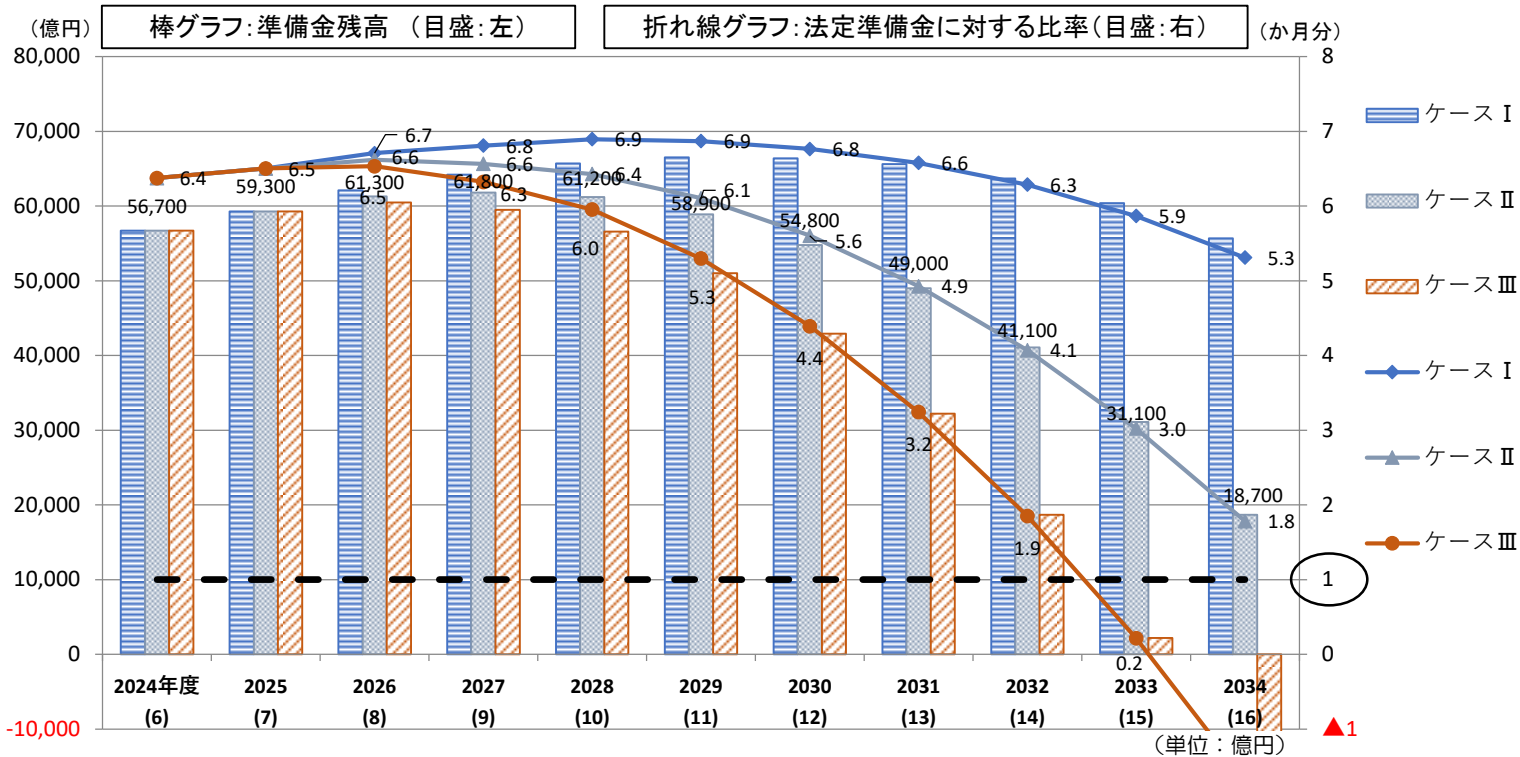


今後 10 年間のごく粗い試算 ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算

賃金上昇率のケースごとの今後 10 年間の準備金残高と収支見通し



単年度収支	2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)	2031 (R 13)	2032 (R 14)	2033 (R 15)	2034 (R 16)
ケース I	2,600	2,800	2,000	1,600	700	▲ 100	▲ 800	▲ 1,900	▲ 3,200	▲ 4,700
ケース II	2,600	2,000	500	▲ 600	▲ 2,300	▲ 4,100	▲ 5,900	▲ 7,800	▲ 10,000	▲ 12,400
ケース III	2,600	1,200	▲ 1,000	▲ 2,900	▲ 5,500	▲ 8,100	▲ 10,700	▲ 13,500	▲ 16,500	▲ 19,600

ケース I : 賃金上昇率	1.6%
ケース II : 賃金上昇率	0.8%
ケース III : 賃金上昇率	0.0%
医療費※	3.2%

※75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率

注. 2026年以降の賃金上昇率は各ケースごとに設定、2026年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は3.2%、2026年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.3%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。